



鹿児島県立甲南高等学校

進路指導室だより

平成29年度 第3号(6月21日発行)

今、考えておきたいこと

4月に新学年新クラスがスタートして、3ヶ月が過ぎようとしている。1学期も終盤に差し掛かり、自分を取り巻く環境も刻々と変化を続けている。今回はそれぞれの学年に分けて、今、考えておきたいことを考えてみたい。

【1年生】

甲南高校に入学して3ヶ月が経つ。高校入試の合格発表の時のこと、入学式で体育館アリーナに入場したあの時、担任の先生に呼名されたあの時、初めてのホームルーム。やる気に満ちた新鮮なみずみずしい心を今も変わらず、持ち合わせているだろうか？1年生の教室の前を毎日通っているが、授業中の真剣な眼差しや生き生きとした表情を見ると、ホッとする。4月当初、廊下ですれ違っても挨拶がほとんどなかったが、今では多くの生徒が挨拶を交わせるようになってきた。昼食時も賑やかに過ごしている様子だ。部活動も先輩方からの指導を受けながら、経験を問わず一からスタートして頑張っているだろう。

さて、学業面については、中学校との違いを強く感じているところだろう。知識量が膨大となり、思考力が問われる場面もはるかに多くなっている。その場しのぎの対策では、小テストや単元テスト、ましてや考査などクリアすることは難しい。できたとしても、果たして定着しているのだろうか。やはり高校で各科目を身につけるためには、**コツコツと時間をかけること（予習→授業→復習のサイクル）が絶対に欠かせない**のである。また、中学生との違いはもう一つ、**全国が相手となる**ということである。1週間後に控えた期末考査で十分な復習をして、直後の進研模試に備えてほしい。1年生はまだ始まったばかり。今の自分の状況を冷静に分析して、次の一歩を考えてもらいたい。

【2年生】

夢の国はどうだっただろうか？修学旅行の楽しい一コマがHPでたくさん掲載されており、見ているこちらにも笑顔になれた。劇団四季、博物館、大学訪問、企業訪問、ディズニーなど実際に足を運んで本物を体感するという事は素晴らしいことだ。しかも学年という集団で豊かな体験を共有できたということも貴重なことなのだ。修学旅行が終わると、高校生活の折り返し地点と言われる。これからあと半分の高校生活をどのように送るのか？学校行事も部活動も中心となる。学校の柱として、それぞれが各ポジションでやるべきことを自覚し、言動をしてほしい。**大切なことは、一人一人が当たり前のことを例外なく当たり前前にやっていくこと**。それが良きクラス環境ひいては学年、学校の素晴らしい環境をつくることになると思う。

【3年生】

県高校総体が終わった。実質2年間の活動ではあったが、ここまで一生懸命やってきた3年生にお疲れ様と言いたい。最後の大会で、思い通りの納得のいく結果が得られた部はどれくらいあったのか？部活動をやってきた本人と共に歩んだ仲間、指導者にしか分からないものがある。結果が全てではない。今回思うようにいかなかったとしても、これまでの歩みの中で、君たちが得たものは計り知れなく、それが確実に今後の人生の糧となる。今、自分の気持ちをしっかりと整理して、次のステップへと移れるか？**部活動をやってきた自分の歩み、部としての歩みがかげがえのない偉大なものであったということを実証するのがこれからだ**。まだ終わっていない部は少なくなったが、最後まで全力を尽くしてほしい。

さて、6月より放課後自習が開始され、先週末からは講座もスタートした。英語のリスニングをスタートとして、一斉に真剣モードに切り替わる。自習中も各教室からオーラが漂ってくるようになってきた。志望校「合格」へ向けての最終ラウンドがついに始まったのだ。センター試験まで7ヶ月を切った。学習時間をどれだけ作り出せるか。スキマ時間をどれだけ大事にできるか。「合格」への道りは順風満帆とはいかないだろう。苦しい場面で自分をどう奮い立たせるのか。共に歩む仲間もいる。お互いに切磋琢磨し、励まし合いたい。我々教員もたくさん応援している。受験は団体戦。個人の闘いではあるのだが、集団の力、環境の力は極めて大きい。全員で顔を上げて、前向きに、泥臭く、歩みたい。**69期生の君たち一人一人が第一志望校合格を勝ち取るために。**

いよいよ来週から1学期期末考査が始まる。4月からの学習状況を確認し、基礎を固める大事な試験である。すでに計画的に取り組みを始めているとは思いますが、抜かりなく入念な準備をして臨んでほしい。健闘を祈る。

【SGH通信】

学び台湾3期生15人が決定しました！

5月中旬に行われた選考会には54人の1年生がチャレンジしました。集団討議や個人面接などを行い、今年の派遣生が決まりました。彼ら彼女たちは、自分たちが行った課題研究をもって9月17日から8日間台湾を訪問します。

課題研究が本格的にスタート！

GWが明けてから各学年の課題研究が本格的に始動しました。1年生は大学レベル講義や、マリアミュージカルアカデミー瞳まりあさんの表現力講座を経験して課題研究に取り組む意義を学び始めました。2年生は1人1人が自分の課題研究テーマを決めようとしています。3年生は今までの研究の成果を論文の形でまとめています。3年間を通した甲南高校のW-KI活動が見えてきますね。



「高大接続」とは？

大学入試が現在の中学3年生が受験生になるときに大きく変わることは皆さんもご存じですね。なぜ大学入試方法を変える必要があるのでしょうか。このことには甲南高校のW-KIで行っている活動／事業も大きく関係しています。ここで「高大接続」という言葉がよく出てきます。今回はこのことについて話をしましょう！

【読書のすすめ】 今月のこれを読め！



SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

ウイルスは生きている 中屋敷均著

たしか高校生の頃、「ウイルスは生物ではない」と習った記憶がある。ウイルスは病気？それともそれを治すのにかかせないもの？そんな疑問からスタートし、わたしたち人間とウイルスとの関係の明らかにしてくれる一冊。「生命科学というパンドラの匣の中には、ぎっしりとウイルスが詰まっていた。果たして彼らは生命なのか？人間は幾多の謎を解明できるのか？生命というミステリーの幕が開いた！」（帯より）